

BFパッキング 取付説明書

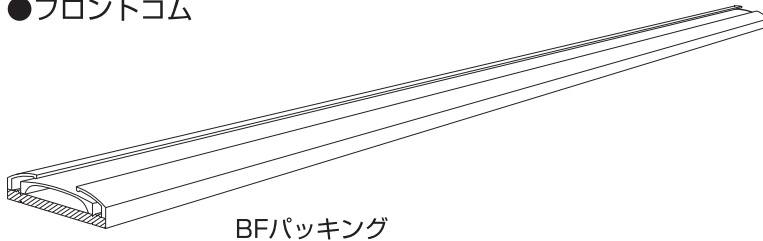


ピンチブロック株式会社

BFパッキング取付説明書

商品の名称

●フロントゴム



BFパッキング

●専用プレート(別売)



BF-FG・FGT用プレート
(美和ロック製 / FGシリーズ用)
/ FGTシリーズ用



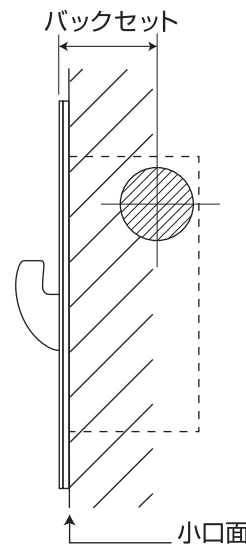
BF-FN・SX用プレート
(美和ロック製 / FNシリーズ用)
ゴール製 / SXシリーズ用

■取付け時に必要な物

- BFパッキング取付け：両面テープ（別売り）または接着剤（市販）
推奨接着剤／スーパーX（セメダイン）・スーパー多用途（スリーエム）
- 専用プレート取付け：瞬間接着剤／ゼリー状（市販）

バックセットの位置

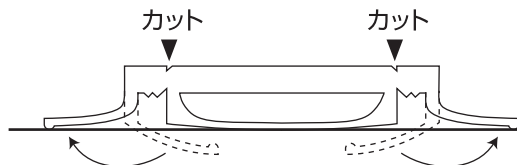
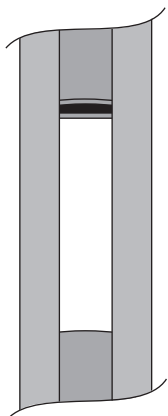
右図のとおり扉内の収納は本体錠ケースのみです。
本体裏板及びフロントは小口面から露出して取付けます。



BFパッキング取付け前の準備

■BFパッキングのカマ錠部の穴あけ

カマ錠の位置に合わせてBFパッキングに穴を開けてください。
縦の切込みは溝に合わせてカットしてください。



上図のようにBFパッキングのツノ部分を広げて
裏側よりカットすると加工しやすいです。

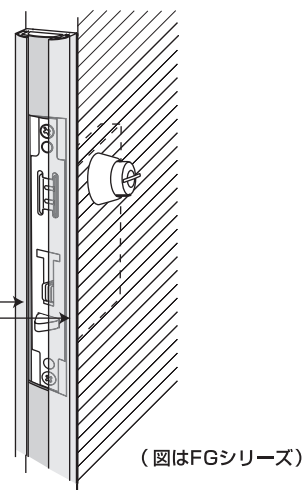
注)

- ・FNシリーズは溝幅よりも小さいですが、溝に合わせてカットしてください。
- ・穴あけの際に、両方のツノ部分を切り落とさないよう十分に気をつけてください。

BFパッキング取付け手順

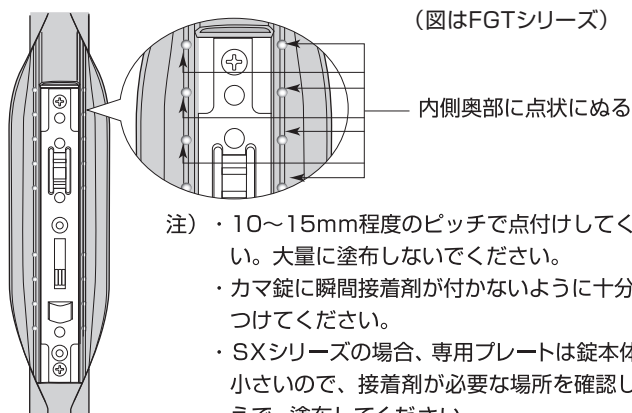
- 1 扉に両面テープまたは接着剤でBFパッキングを取付ける。
穴加工の位置がずれないようにご注意ください。
この時点でカマ錠用のフロント（金物）は取付けないでください。

注）カマ錠の両サイドも両面テープ
または接着剤で固定させてください。

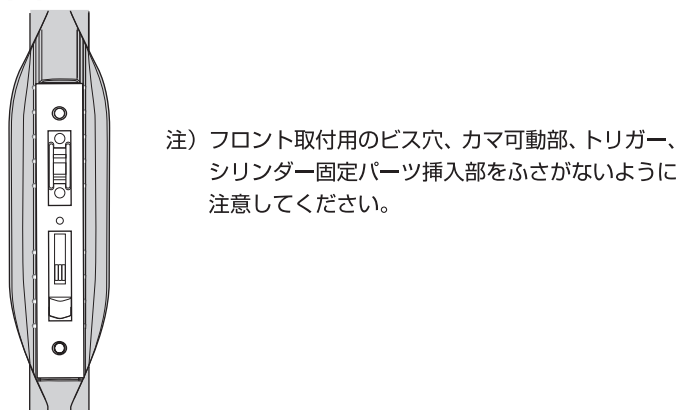


- 2 カマ錠両サイドのBFパッキングが剥がれないようにするために、専用プレートとBFパッキングを接着します。

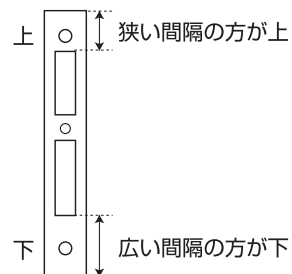
- 2-1 瞬間接着剤（ゼリー状）を
BFパッキングの内側奥の部分に“点状”に塗ります。
(図はFGTシリーズ)



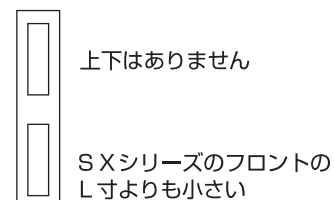
- 2-2 専用プレートをはめ込みます。



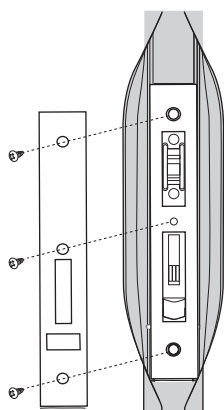
BF-FG・FGT用プレート



BF-FN・SX用プレート

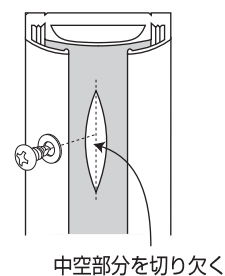


- 3 フロント（金物）を固定する。
専用プレートがカマ錠の可動に影響がないか再度確認してください。
瞬間接着剤が乾く前に、ビスでしっかり留めてください。



お薦め!!

BFパッキングをより確実に固定するためには、ビス留め（ワッシャー付）をお薦めします。
ビス留めをする場合は、中空部分を切り欠き底面と扉を固定します。



◎フロントが扉の小口面と面一になっている場合は、キーケースの裏板とフロントを小口面から露出させてください。

取付け時に必要な物

バックセット位置を移動する場合、次の①②を別途ご用意ください。

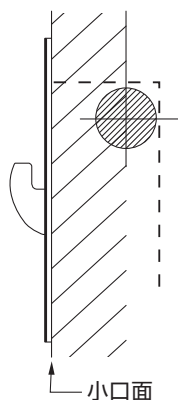
①キーケース位置移動:厚み5mmのプレート(ワッシャー等)

※ビス固定時、固定接触面積を増やすため、ワッシャーよりもプレートをお薦めしております。

②シリンダー(サムターン)穴塞ぎ用:美和ロック製「44ライナー」「EBH9」他

バックセットの位置の変更

下図①のとおり扉内の収納は本体錠ケースのみです。
本体裏板及びフロントは小口面から露出させてください。



図①

【フロントが小口面と面一の場合(右図②)】

裏板を露出させるためにバックセットを5mm前方にずらします。

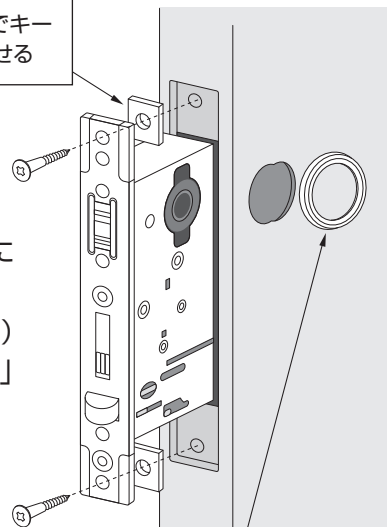
①厚み5mmのプレートやワッシャー等を裏板に挟み込み5mm前方に出してビスで固定ください。

②バックセットの位置が変わる事により、シリンダー(サムターン)の取付穴が露出してしまう場合は、美和ロック製「44ライナー」「EBH9」等で露出部を塞いでください。

【ご注意】

取付け穴の露出部を塞ぐ際に、使用されるライナーやプレートの厚みにより、シリンダー(サムターン)の扉厚許容範囲外となり取付けが出来ない場合がありますので必ずご使用前にご確認願います。

①プレート・ワッシャー等でキーケースを前面に露出させる



②穴が露出する場合はライナー等で塞ぐ

図②

ストライク(ラッチ受け)の上下の隙間塞ぎ

【ストライク(ラッチ受け)の上下に段差がある場合】

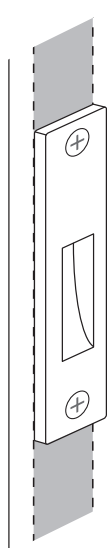
左図Aのようにストライクが枠から露出して、施錠時ストライクの上下に隙間が出る場合は、『#12-MS(スライド加工ピンチブロック)』を右図Bのようにストライク上下に取付ける事により隙間を塞ぐ事が出来ます。

【フロント側にBFパッキングの取り付けが出来ない場合】

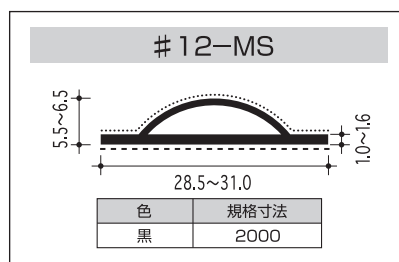
①ストライク(ラッチ受け)が小口面と面一の場合、プレート、ワッシャー等を挟み込み、小口面から5mm前方に露出させてください。

※5mm露出させませんとカム錠が掛かりませんのでご注意ください。

②#12-MS(スライド加工ピンチブロック)を右図Bのようにストライク(ラッチ受け)上下に取付けることで『衝撃緩和材』としてご使用いただけます。



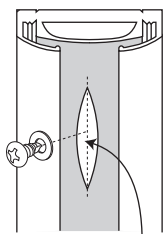
図A



図B

お薦め!!

BFパッキング(#12-MS)のはがれ防止のために、上下端部をビス(ワッシャー付)での固定をお薦めしています。中空部分を、切欠き底面と相手面を固定します。



中空部分を切り欠く

ご注意

※外部サッシのBFパッキング固定には、別売りの両面テープ(34mm幅、20m巻)をご用命ください。
(#12-MSは27mm幅、20m巻)